



とうのしょうまち

東庄町 第160号

議会だより

平成29年
6月1日
発行

発行／東庄町議会

〒289-0692 香取郡東庄町笹川い 4713-131 電話 0478 (86) 1111

目次

- 3月定例会の内容…………… 2～4
- 常任委員会報告…………… 5～7
- 一般質問…………… 8～13
- 議会活動日誌…………… 14



羽計在住
越川 信さん所有の水田にて



コジュリンくん

絶好の五月晴れとなった5月1日(月)、橘小学校3年生以上の児童が、今年も「総合的な学習の時間」に田植え体験を行いました。

裸足で入る田んぼ、どろの感触、頬をなでる風の爽やかさを肌で感じ、最初は恐る恐るだった児童たちも直ぐに慣れ、尻持ちをつきながらも懸命にがんばりました。さあ、秋には、待望の収穫です！！

3月定例会

平成29年度 一般会計52億3000万円 ほか7特別会計予算可決

平成29年3月町議会定例会は、3月6日から17日までの12日間の会期で開かれました。

今議会では、人権擁護委員の推薦、条例の制定・一部改正、補正予算、平成29年度各会計予算などの20案件が提案されました。

このうち、1案件が撤回されたため、平成29年度一般会計予算など19案件につきまして、原案のとおり適任・可決しました。

一般質問は6人の議員が行いました。

定例会の経過概要

3月定例会初日の6日には、一般質問を6人の議員が行い、次に、諮問1件を上程し採決を行った結果、適任とすることに決定しました。

続いて、条例の制定・一部改正、各会計の補正予算など議案10件を順次上程し、いずれも原案のとおり可決しました。

2日目の7日には平成29年度の8会計予算案を順次上程し、これらの議案審議を、予算決算常任委員会に審査を付託しました。

8日、9日及び13日に予算決算常任委員会を開催し、平成29年度各会計予算案について詳細な審査を行いました。

最終日の17日には、議案1件の撤回がありこれを承認いたしました。

次に平成29年度各会計予算案について、予算決算常任委員長から審査結果の報告がありました。

一般会計予算につきましては修正動議が提出され投票による表決をし

た結果、各会計予算を原案のとおり可決しました。



主な議案等の概要

◎人権擁護委員候補者の推薦

法務大臣に推薦するにあたり議会の意見を求められたもので、青柳清一氏（東今泉）を適任者として推薦することに決定しました。

◎東庄町国民健康保険東庄病院医学士奨学金等貸付条例の制定

議案の撤回請求が出され3月17日の本会議で撤回を承認しました。

◎町税条例等の一部改正

消費税増税が平成31年10月1日に延期されたことに伴う改正を行うものです。

◎東庄町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

介護保険法及び関係政省令の一部改正に伴い指定の基準等の改正を行うものです。

◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い農業委員及び農地利用最適化推進委員の報酬について改正するものです。

◎町長、副町長及び教育長の給料月額の特例に関する条例の一部改正

町長10%、副町長7.5%及び教育長5%、給料月額を減額する特例

措置を平成30年3月まで延長するものです。

◎東庄町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

◎職員の子供休業等に関する条例の一部改正

地方公務員法及び地方独立行政法人法など法律の一部改正に伴い所要の改正を行うものです。

◎損害賠償の額の決定及び和解について

平成28年5月28日に発生した町民バスの交通事故について、和解条項及び損害賠償額を決定するものです。

◎一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、1億7292万1千円を追加し、補正後を5億8010万2千円とするものです。

◎国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、3875万7千円を追加し、補正後を25億7838万円とするものです。

◎介護保険特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、900万円を追加し、補正後を12億9342万円とするものです。

◎一般会計予算

歳入歳出予算の総額を52億3千万円とするもので、前年度比4億1千万円の増となるものです。

◎国民健康保険特別会計予算

歳入歳出予算の総額を23億9488万1千円とするもので、前年度比7009万4千円の減となるものです。

◎後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算の総額を1億4400万9千円とするもので、前年度比213万7千円の増となるものです。

◎食肉センター特別会計予算

歳入歳出予算の総額を1億1533万2千円とするもので、前年度比715万7千円の増となるものです。

◎訪問看護ステーション特別会計予算

歳入歳出予算の総額を2113万円とするもので、前年度比55万7千円増となるものです。

◎介護保険特別会計予算

歳入歳出予算の総額を13億2832万円とするもので、前年度比8596万9千円の増となるものです。

◎水道事業会計予算

収益的収入の予定額を4億4053万7千円、収益的支出の予定額を3億9369万5千円、資本的収入の予定額を0円、資本的支出の予定額を3971万8千円とするものです。

◎国民健康保険東庄病院事業会計予算

収益的収入の予定額を11億6850万6千円、収益的支出の予定額を11億6306万7千円、資本的収入の予定額を3270万1千円、資本的支出の予定額を9799万9千円とするものです。

◎平成29年度一般会計予算に対する修正動議を否決

統合小学校建設に伴う事業予算額合計2億4058万8千円を減額する修正動議

- 1 教育施設整備工事設計業務委託料1566万円
- 2 教育施設維持補修工事設計管理業務委託料594万円
- 3 教育施設維持補修工事費2億1898万8千円

提出議員

- 高木 武男
- 城之内 一男
- 佐久間 義房
- 板寺 正範
- 大網 正敏
- 花香 孝彦
- 土屋 光正

提案理由・賛成討論

・校舎増築は統合計画と大幅に違い、大きく乖離しています。将来的には中学校の位置に移転、笹川小学校の位置が最も適しているとか、将来ビジョンがわかりません。いかにも場当たり的で将来構想が示されてなく無駄な投資になりかねません。

小学校統合に伴う予算計上された一般会計予算には賛成できません。私が行ったアンケート調査によると中学校の隣がよいとの回答が73%でした。納税者の町民にしてみれば望んでいないところに多額の税金を使われることに怒っています。町民の意思が反映されない予算案に反対します。

・4月から過疎指定になり、学校施設建設も対象になります。小規模修繕などせず、中学校隣接に新校舎の建設を望みます。無駄な投資には、反対です。

以上、提案者議員からそれぞれ説明を受け討論の後、無記名投票の結果、賛成6 反対6 白票1となり賛成少数で修正動議は否決されました。

※白票：白票は否として取り扱う。

※修正動議：原案に対し、議員が修正の提議を行うとき、提出する動議のことをいう。

3月定例会上程議案等議決結果

賛成=○ 反対=× 議長=- (議長は、採決に加わりません)

議案番号	議案名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
			土屋 光正	宮澤 健	佐久間 義房	板寺 正範	花香 孝彦	林 俊之	大網 正敏	城之内 一男	高木 武男	鈴木 正昭	山崎 ひろみ	宮崎 正吾	鎌形 寿一	土屋 進	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第1号	東庄町国民健康保険東庄病院医学生奨学金等貸付条例を制定することについて	議案撤回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
議案第2号	町税条例等の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第3号	東庄町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第4号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第5号	町長、副町長及び教育長の給料月額の特例に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第6号	東庄町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第7号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第8号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第9号	平成28年度東庄町一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第10号	平成28年度東庄町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第11号	平成28年度東庄町介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第12号	平成29年度東庄町一般会計予算	原案可決	無記名投票採決 賛成7 反対5 白票1													-	
議案第13号	平成29年度東庄町国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第14号	平成29年度東庄町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第15号	平成29年度東庄町食肉センター特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第16号	平成29年度東庄町訪問看護ステーション特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第17号	平成29年度東庄町介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第18号	平成29年度東庄町水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第19号	平成29年度東庄町国民健康保険東庄病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

予算決算常任委員会報告

3月定例会の本会議において付託された新年度予算8議案については、3日間にわたり予算決算常任委員会において慎重に審査が行われました。質疑、意見等の概要は次のとおりです。



城之内一男予算決算常任委員長

(一般会計 歳入)
 質 財政調整基金の状況は。
 答 財源に余裕のある年に積立いたしました財政調整基金額は現在約15億円です。本年度は一部を取り崩し統合小学校校舎増築や給食センター建設に向けた整備事業に活用を考慮しております。



質 住宅用省エネルギー設備導入促進事業補助金とは。
 答 住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電システムなどで、県から約2分の1の補助金を見込むものです。
 質 臨時財政対策債についての考え方は。

質 借り入れの上限額を予算額として計上しております。しかし、経費の削減に努め、できるだけ使わず限度額を下回る借入額の予定です。

(一般会計 歳出)

質 防犯カメラの設置理由は。

答 いろいろな事故、事件が発生しており、社会的要請を考慮しまして、笹川駅、橋駅、役場庁舎及び保健福祉総合センターを予定しております。
 質 シルバー人材センター運営補助金の増額理由及び経営状況は。
 答 経営は厳しい状況であります。機材をそろえ受注に対して処理できる経営の強化を図るため、補助金を増額いたしました。

質 住宅用省エネルギー設備とは。

答 住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電システム、太陽熱利用システムのことです。



質 不法投棄対策工事とは。
 答 不法投棄の監視カメラを設置するものです。

質 水稻病害虫一斉防除事業の今後の方向性は。ラジコンヘリ撒布への移行は。

答 高齢者の負担、労働力の軽減のため地元からの要望があり、実施している状況です。今後も農業団体などの意見を聞きながら散布方法に対応していきたいと思っております。

質 現在の実行組合数は。農業経営転換金、耕作者集積協力金、農地流動化との兼ね合いについては。



答 実行組合数は現在32組合があります。農用地利用増進については、農地中間管理事業を活用した農地の集約集積を実施するものです。

質 耕作放棄地再生事業、水田農業構造改革対策費とは。

答 飼料用米等の流通加速化補助金であり、生産するための機器等の整備に伴う県100%の補助金です。

質 地域行政ポイントとは。



答 商店連盟が実施していました東庄カードに町の行政ポイントを付与し活性化と住民サービスの向上を目指すものです。

質 観光案内駐車場トイレの維持管理及び防犯カメラの設置予定は。

答 清掃管理費は昨年同様です。洋式に変更しますのできれいに使っていないだけのものと考えています。防犯カメラ設置につきましては、総務課と協議いたします。

質 消防車両更新と運転免許の関係は。

答 香取広域消防と協議を進めながら順次オートマチック車に変えていきたいと考えています。

質 教育関係バス運行委託先は。

答 幼稚園バスの運行はシルバー人材センター、給食センター配送業務は笹川運送、バス借上げについてはレンタカーを利用する予定です。



質 給食センター備品購入費150万円は新給食センター使用可能備品か。

答 購入した備品については、引き続き新センターで活用予定です。

質 小学校の統合校舎増築に係る契約手続きについて。

答 建設工事等の請負契約につきましては、町の規定に基づき一般競争入札にて実施いたします。

質 ふるさと応援基金の取り扱い。

答 寄付をいただいた方からの金額は寄付金として積み立て、返礼品の支出は別に計上しております。



(国民健康保険特別会計)

質 収税協力会運営交付金の該当数及び割合はどのくらいなのか。

答 収税協力団体は86団体です。

答 10月完納50団体で1・5%、12月完納が20団体で1・0%、未完納団体16団体で0・3%の交付となっております。

(後期高齢者医療特別会計)

特に、質疑はありませんでした。

(食肉センター特別会計)

質 食肉センターから出る汚水の処理は適切か。

答 25年度に浄化槽の処理設備を更新しました。また、毎月定期的に水質検査を行い適切な管理を実施しております。

(訪問看護ステーション特別会計)

特に、質疑はありませんでした。



(介護保険特別会計)
 質 すこやかクラブミニデイサービス
 時の昼食サービスとは。



答 午前10時から午後2時30分までの
 短時間ですが昼食時間を挟みますの
 で利用者負担により600円程度の
 昼食提供を行っているものです。

(水道事業会計)
 質 4千万円の黒字ですが、基本料金
 値下げに反映をする考えは。

答 一般会計の補助金、県補助金があ
 り黒字運営となっております。将来
 的な施設更新に併せ積み立てており
 料金値下げは考えておりません。



(東庄病院事業会計)
 特に、質疑はありませんでした。

以上のような質疑等が交わされ、こ
 の8会計について採決した結果、当委
 員会としては、一般会計については賛
 成多数、特別会計・事業会計について
 は全員の賛成により、原案のとおり可
 決すべきものと決定しました。

平成29年一般会計予算に対する
 修正案提出

統合小学校建設に伴う事業予算額減額

提案理由

この町の将来を支える子ども達には、
 より良い教育環境で学校生活を送れる
 ように、精一杯サポートしてあげたい。
 よって、教育施設への投資は、限ら
 れた財源を無駄なく、統合計画のお
 り計画的・効率的に使うことで、今、
 統合時、将来の子ども達に、より良い
 教育環境を整えてあげることが可能と
 なることを考える。
 将来ビジョンが示されるまでは、新
 校舎を建設することは、過剰な投資で
 あると考え、統合計画のとおり進める
 べきである。

提出者

- 高木 武男
- 佐久間義房
- 板寺 正範
- 大網 正敏
- 花香 孝彦



シエイクアウト訓練に参加

3月13日にシエイクアウト訓練
 が行われ、予算決算常任委員会審
 査中でしたが、全議員が参加しま
 した。

いつ、起こるかわからない天災
 に備え、身の安全を守りましよう。



議会全員協議会を開催

議会では、2月14日・4月
 14日に全員協議会を開催し、
 初めての取り組みとして「議会の
 活性化」・「議会運営、活動につ
 いて」の意見交換をしました。
 これからも、適宜開催し、意
 見を深めながら、実りあるもの
 にしていきたいと考えます。



山崎 ひろみ 議員

子ども達をとりまく教育環境の整備充実について

問 幼児教育の重要性と、我が町の実態を踏まえ、将来を担う子ども達を育むという観点から教育長の見解を伺う。

保育士・幼稚園教諭の資格を取り、地元に戻ってくる若者を人材確保の観点から正職員として雇用する体制を整えるべきと考えるが。

教育長 幼稚園の就園率が下がっている一因が保護者の就労にあると思います。両親共に就労している場合、幼稚園の保育時間が短いため、預けられない家庭がかなりあると思われます。現在預かり保育も行っておりますが、この時間をさらに延長し、幼稚園型のこども園として認定されるよう整備し、幼稚園の環境を変えていきたいと思っています。幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大変重要なものであると認識しております。

これからも、尚一層幼稚園と小学



校の連携の強化を図り、心の教育をより一層進めて参りたいと考えます。
教育課長 今現在、入園率が50%を下回り、園児数も減少下にありますので、正規の職員の増員は考えにくいものと言わざるを得ません。
また、正規職員と臨時職員とは、職責と職務の質に相違があります。
しかし、幼稚園でも多動性のあるお子さん等、可能な限り受け入れておりますので、非常勤講師の配置はこれからも必要と考えます。

問

町図書館の利用状況を伺い、開館時間の延長や学習スペースの設置等の要望があるが、検討する考えはあるか。

教育課長 町の図書館業務は、東庄町図書館と石出分館の2館で行っており、年間来館者数は併せて、1万3千109人で、昨年度貸出冊数は1万6千986冊でした。利用者は、新刊書も毎月50冊ほど購入しておりますので、若い人の利用も増加しています。

次に、図書館の環境改善ですが、個人の仕切りについては、デスクトップパネルでの対応は可能ですが、デスクとパネル一体型のブース型の設置は、スペースの確保と予算計画が必要です。今後の検討課題といたします。併せて、利用時間についても、管理面から検討したいと考えています。



問

不登校の児童・生徒の実態と対応について、及び教育支援センターの利用状況について伺う。

教育課長 不登校とは、年間30日以上、児童生徒が何らかの要因により登校しない状況を言いますが、現在小学校で1人、中学校で10人おります。

この対応については、各学校が毎月の欠席状況報告を教育委員会へ提出し、委員会から北総教育事務所へ報告しています。これと合わせて、委員会は各学校と対応策を検討し、指導主事・町教育支援センター指導員が児童生徒・保護者と面接を行っています。

また、状況に応じ、北総訪問相談担当教員・スクールソーシャルワーカーへの協力要請をいたしながら、不登校対策会議において、対応策を検討しています。

次に教育支援センター（旧東城幼稚園園舎）ですが、平成26年が3名、27年が2名、28年現在は1名が通級している状況です。なお、利用者は原則、町内児童生徒と限定しておりますが、委員会が特に必要と認められた場合に限り、町外の者の通級も可能としております。



土屋 光正 議員

高齢者の在宅介護について

問 近年の急激な高齢化・長寿化に社会がついていけないと考

える。
在宅介護は160万人おり、当町では総人口1万4480人に対し、65歳以上が5008人、介護認定者は743人で、内施設受給者は716人と聞いている。2025年は、3人に1人が高齢者となる現状だが、当町の施設利用状況は如何に。
また、在宅介護を行う家族の負担軽減ケアについての、町の施策を伺う。

健康福祉課長 当町には、地域密着型事業所が4つ、広域型の介護施設が5つありますが、今年1月1日現在で、デイサービス・ショートステイの利用希望の待機者はありませんでした。

また、特別養護老人ホームの竜神苑、舘舘、介護老人保健施設深深では、それぞれ10人から27人の待機者

がありました。

待機されている方は、同時に町外複数の施設に入所申込みしているケースも多く、このような状況の中、施設数が十分に足りているとは言えませんが、平成30年3月から広域型60床の介護老人福祉施設が開園予定であり、待機者の解消が図られると考えます。

また、要介護者のショートステイや、デイサービス等介護保険サービスは介護を必要とする方のみならず、介護をする家族の精神的・身体的負担を軽減するためのサービスでもありと考えております。こうしたサービスをケアマネジャーさんと相談しながら、有効利用することが負担軽減につながるものと思えます。
そして、町の地域包括支援センターでは、関係機関と連携し、介護者の悩み解消や、負担軽減に努めています。



問 当町では、在宅介護の要介護者に対し、虐待の報告はあるか。行政は、どのような介入を行っているのか。

健康福祉課長 今年度、本町の高齢者虐待に係る相談・通報は、4件受け付しました。相談元は、被害を受けている高齢者本人または、ケアマネジャー、当事者以外の家族、香取警察署からの通報でした。

その後の対応ですが、訪問調査による事実確認をした後、関係者によるケース会議で援助方針や支援内容を決定しております。

緊急性が高い場合は、高齢者の措置入所の実施により虐待者との分離もありますが、本町では、現在そのようなケースは発生していません。

また、時間をかけた状況改善の必要がある場合は、継続した見守り、ケアプラン見直し、施設入所につなげる対応をしています。



議会の傍聴にお出かけください

6月定例会は、6月6日(火)から開会予定です。

<http://www.town.tohnosho.chiba.jp/>





高木 武男 議員

小学校統合について

問 昨年の12月議会に於ける小学校設置条例の議決について私が町民に聞いたところ、85%の方が町民の意志が反映されていないと言っております。これ程多くの町民が設置条例の決め方について疑念を持っています。

町政は、町民一人一人のためにあるのではないのでしょうか。このまま進めていったら大きな禍根を残します。

町、教育委員会は諸課題検討委員会や意見を聞く会、そして町民の声を尊重すべきです。ここは、白紙撤回して今一度充分に検討すべきです。また、国立人口問題研究所の推計によると、本町の20年後の人口は1万人程、財政規模も10億円位の減少が予測されます。限りある予算の中でも子ども達にはより良い教育環境を整えねばなりません。

そのためには、小学校は中学校の隣に建て、運動場・体育館・プール・

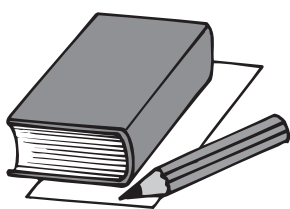
図書館等、小中が共同で利用すればより効率的です。
町民一人一人の声を丁寧に聴くことは、行政の基本ではないでしょうか。
教育委員会の見解を求めます。

教育課長 小学校統合に関する「東庄町立小学校の設置条例の一部改正条例」につきまして、昨年12月定例会において、賛成多数により議決頂いております。

教育委員会としましては、平成32年4月統合に向け、保護者の皆様、各学区の区長を初めとする住民の方々のご協力を頂きながら、粛々と準備を進めて参りたいと考えています。

小学校統廃合に関するご意見については、「諸課題検討委員会」、「統廃合に係る説明会」、「意見をいただく会」を通し、寄せられてまいりました。これらのご意見の「最大公約数」を、より良い教育環境の整備を念頭にしながら、現在の各校の状況・学習指導要領の改訂、さらには財政状況等を考慮しながら検討して参りました。

議員が示された個々のご意見もこの「最大公約数」に含まれているものであると認識しております。





佐久間 義房 議員

東庄町の過疎指定について

問 今年4月1日から我が町が過疎指定されることになるが、それに伴い将来的にどのような事業対策を考えているか。

また、財政措置と行政措置面にはどういうものがあるのか、伺う。

総務課長 町は、まず、過疎地域自立支援促進市町村計画を策定します。計画策定にあたっては、今後、県と協議を重ね、9月議会への計画案上程を目指します。

財政面では、施設整備等に起債が可能で、その元利償還金の7割が後年度に交付税措置されます。

また、行政措置では、基幹道路の整備等で技術的に困難な場合に、県の代行による支援を受けられるようになります。

これら各種優遇措置を十分活用し、効果的に事業を展開し、町の活性化を図りたいと考えます。

今回の過疎指定は町にとり、大き



なチャンスととらえています。
問 過疎対策事業債を利用し、老朽化した中学校や小学校の校舎を建て替える考えはあるか。
総務課長 今現在、個別の計画自体は持っておりませんが、これから計画を作っていく段階ですので、町にとって、より有利な事業展開となるよう、過疎指定の特権を生かし、優遇措置を出来る限り活用したいと考えております。

要望 過疎対策事業債を利用し、老朽化した中学校、小学校の校舎を建て替えるなどの検討もお願いしたい。



一般質問は、3月定例会の内容を要約したものです。
全文は、東庄町ホームページ内東庄町議会・会議録からご覧下さい。



大網 正敏 議員

学校給食について

問 宗教的配慮やアレルギー対策、栄養・嗜好・季節・郷土料理・異文化の献立また、給食の残滓・地産地消・マナー等、食育につきどのように考えているか。

教育課長 まず献立については、本町は塩分過剰による胃がん等の発生率が高いとのデータに基づき、特に塩分摂取に気を付けた栄養管理を行っております。また、児童・生徒の嗜好も鑑み、肉・魚・豆料理など、偏りなく、かつ、学校給食摂取基準に基づいた献立を作成しております。宗教・宗派問題なく頂けるグローバルな献立にはなっておりません。アレルギー対策は、現在、センター栄養士と学校養護教諭とが連携し、材料チェック方式で保護者へ確認の上、代替食の持参か本人による除去をお願いしていますが、文科省の指針をもとに、新たな給食センター建設に併せ、効果的な対策の実施についても検討して参ります。

次に、給食の残滓ですが、衛生面も考慮の上、学校での処理をお願いしています。

地産地消については、配送ルートと数量確保を含め、新しい協力者を募集しているところですが、現在、米は全て、一部ではありませんが、豚肉、玉ねぎ、キャベツ、長ネギ、大根、イチゴが地元産です。

また、マナー指導は、栄養士が学校に向き、1年生に姿勢やお箸の持ち方等を指導しています。



問 学校給食法では、食料費は保護者負担となっているが、一般会計から補助の理由と、無料化する考えはあるか伺う。

また、給食費の未納金の処理はどのようにしているか。なぜ、特別会計を廃止したのか経緯を説明願いたい。

教育課長 給食費の無償化については、受益者負担の原則と、政策的判断のバランスも考慮しながら、検討

頂く事項と考えます。

また、未納金の対応ですが、文書催告を初め、電話催告、臨戸徴収を実施して納付をお願いしております。次に、特別会計からの移行は平成21年度からで、理由は歳入のほぼ半額が一般会計からの繰入金であるため、会計事務の簡素化を図るために統合いたしました次第です。

問 高齢者等に対する食事提供等、給食センターの多機能化について町の考えは如何に。

教育課長 制度的には可能と考えますが、実施体制や設備面から、新給食センター整備計画の中での検討は、考えておりません。

町役場職員の働き方改革について

問 職員のスキルアップやモチベーションを高めるための対策と、女性職員の採用の拡大につき伺う。

総務課長 職員には、研修受講と人材育成のための計画的なジョブローテーション等の取り組みを行っております。

また、本年度から、目標管理、自己評価、面談等を取り入れた新たな人事評価制度を導入しました。これら能力・実績に基づく人事管理を行うことで、組織全体の士気高揚と公務能率向上を促し、最終的には住民

サービス向上へ繋げたいと考えます。職員採用は、年度により男女比率に差はありますが、概ねバランスがとれた状況となっています。管理職登用については、個々の人事評価の結果を踏まえ、今後も能力ある女性職員は登用していく方針です。

問 町職員のメンタルヘルスについての対策と、プレミアムフライデーを今後取り入れる予定はあるか、町の見解を問う。

総務課長 職員のメンタルヘルス対策は、平成27年12月1日に施行された改正労働安全衛生法に基づき、本年度から職員のストレスチェック制度を導入・実施し、委託業者による分析を行い、職員本人へ結果を通知しました。この結果により、カウンセラー等への電話相談・産業医による面接指導を受けることができます。今後も結果による職場分析を行い、環境の改善に活かしたいと考えます。また、「プレミアムフライデー」の取り組みについては、住民サービスの観点等から現時点では導入の予定はありません。





城之内 一男 議員

**教育環境の整備・充実に
ついて**

問 統合小学校施設計画は、従来
の説明、答弁と大きく乖離し
ており、統合計画の大幅な変更と考
える。普通教室を含む新校舎の増築、
北・南校舎改修工事の施設計画が示
されたが、将来ビジョンが示されな
い限り判断できない。

教育委員会の明確な答弁を求める。
教育課長 施設計画は、平成32年度
から開始される、教育指導要領の軸
である「アクティブ・ラーニング」
に対応するためのものです。計画に
は、普通教室3教室が含まれますが、
軽量鉄骨造で簡易に建設するもので
あるため、乖離とまでは言えないも
のと認識しております。

来年度から「東庄町立小学校統合
全体会議」を立ち上げ、校歌・校章・
校旗、学校運営・教育計画、スクー
ルバス等、統合前後の児童への配慮
に関し、検討頂き、成案を得たいと
存じます。



問 学校統合を跡地利用と一体に
とらえ、将来にわたる費用対
効果の推計、及び行政の基本的な方
針を伺う。

教育課長 学校施設は体育館に代表
されるように、教育施設のみならず、
社会教育施設としての役割も担って
いるため、体育館・プール等の需要
を見極め、リノベーション事業の一
つに加えて頂きたいと考えておりま
す。

なお、廃校後の学校施設の維持管
理の費用ですが、その利活用に未知
数が多く算定できません。

問 小中一貫教育については、一
歩後退している印象も感じら
れるが、これまでの研究・検討状況
を併せて伺う。

教育課長 小中一貫教育は新たな制
度のため、文科省の説明会や、ICT
を活用したつくば市の小中一貫教育
研究大会に出向き、情報収集を行っ
て参りました。さらに、本年1月に
は、県教育委員会主催の研修会に出
席し、市川市立塩浜学園の設置経緯
と成果課題を研修いたしました。

これらの情報を教育委員の皆様に通
宜提供し、検討頂いております。

問 幼稚園について、将来的に統
合するのが、2・3年保育の課
題に関して、改めて行政の考えを伺
う。将来的には、幼保連携型認定こ
ども園以外、選択肢はないと考える
が。

また、小学校統合後の放課後児童
クラブの運営について、行政の方針
は如何に。

教育課長 本町では、幼稚園の保育時
間を延長して、幼稚園型のこども園
に認定して頂き、1年間の認定こど
も園として、小学校就学前の幼稚園
教育をしっかり行っていくことが肝
要と考えます。このようにすること
で、保育園と幼稚園が切磋琢磨し、
本町の子ども達の教育がより良いも
のとなると考えます。

健康福祉課長 放課後児童クラブに

ついては、子どもが安全に安心して
過ごせるよう環境整備を進めたいと
考えます。平成32年度からの小学校
統合に向け、平成29年度中に運営の
方向性を示せるよう検討して参りま
す。

問 給食の方法が変わる中、食育
教育について、配送を含め学
校給食センター運営面に於ける体制
を伺う。

教育課長 食育教育は、学校給食を通
して行われるのが中心ですが、準備
から後片付けまで一連で行うことで、
児童生徒に望ましい食習慣と食に関
する実践力を身につけさせることが
できます。以前は完食を目標に指導
したこともありましたが、現在は、
行っておりません。

しかし、偏食や嗜好の偏りについ
ては、根気強く改善に向けた対応と
指導が必要と思えます。

教育課長 新センターについては、
現在業者の選定をプロポーザル方式
により実施しています。これらの選
定された厨房業者の経験を聞きなが
ら検討してまいりたいと思えます。



議会活動日誌

【議長・議員が出席した主な行事】

2月

- 1日 東庄町介護保険運営協議会
- 4日 東庄町住民福祉大会
- 6日 東庄町国民健康保険運営協議会
 - 〃 学校給食センター厨房機器業者選定指名型プロポーザル審査委員委嘱及び審査会
- 7日 東庄町水道運営審議会
- 9日 議会広報編集委員会
- 10日 平成 28 年第 1 回千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会
 - 〃 香取郡市町議会議長会正副議長・事務局長合同会議
- 13日 東総広域水道企業団議会定例会
- 14日 議会全員協議会
- 15日 東庄町シニアクラブ連合会お楽しみ会
- 20日 平成 28 年度第 3 回千葉県町村議会議長会定例会及び第 2 回政務研究会
- 21日 東庄町総合計画審議会
 - 〃 利根川下流域市町議会議長会
- 22日 東庄町社会福祉協議会並びに千葉県共同募金会東庄町支会第 3 回理事会
 - 〃 社会教育委員会議及び公民館運営審議会・図書館協議会並びにスポーツ推進審議会合同会議
- 23日 東庄町保健推進協議会
- 24日 香取広域市町村圏事務組合議会運営委員会
 - 〃 香取広域市町村圏事務組合議会全員協議会
 - 〃 香取広域市町村圏事務組合議会 3 月定例会
- 26日 東庄町区長会定期総会
- 27日 議会運営委員会
 - 〃 東庄町学校給食センター運営委員会

3月

- 2日 外出支援巡回バス運営協議会

- 6日 議会 3 月定例会本会議・全員協議会
- 7日 議会 3 月定例会本会議
- 8日 予算決算常任委員会
- 9日 予算決算常任委員会
- 10日 東庄中学校卒業式
- 12日 発酵の里こうざき酒蔵まつり 2017
- 13日 予算決算常任委員会
 - 〃 シェイクアウト訓練
- 14日 笹川幼稚園卒園式
- 15日 橘幼稚園卒園式
- 16日 東庄町立小学校跡地利活用検討委員会視察
 - 〃 石出小・東城小卒業式
- 17日 神代小・笹川小・橘小卒業式
 - 〃 議会 3 月定例会本会議・全員協議会
- 22日 香取市東庄町病院組合議会全員協議会
 - 〃 香取市東庄町病院組合議会定例会
- 23日 東庄町社会福祉協議会並びに千葉県共同募金会東庄町支会第 4 回理事会

4月

- 6日 笹川・橘幼稚園入園式
- 7日 町立小学校入学式・東庄中学校入学式
- 8日 鹿島アントラーズフレンドリータウンデイズ「東庄の日」
 - 〃 東庄町消防団役員懇親会
- 10日 東庄町教育研究協議会定期総会
- 14日 議会全員協議会
- 19日 東庄中転出入職員の P T A 主催歓送迎会
- 20日 東庄町観光協会総会
- 25日 議会広報編集委員会
- 26日 香取広域市町村圏事務組合例月出納検査
- 28日 東庄町シニアクラブ連合会総代会

◆編集後記◆

3月議会も終了し、保育園・幼稚園・小中学校へ入学された子供たちも新しい生活に慣れてきた頃と思います。

安心して学べる環境の骨格作りが町民、行政、議会の連携のもと笹川小学校の増改築で決定し、いよいよ実施計画に入りました。

町民から望まれる学び舎となるよう期待したいと思います。

私達も皆様に親しまれる議会だより作りを目指して編集に努めて参ります。

(委員 鈴木 正昭)

議会広報編集委員

委員長
副委員長
委員

花 香 孝 彦
宮 澤 ひろみ
山 崎 正昭
鈴木 正敏
大 網 正
土 屋 光 正

